

テーマ「温泉と公園は未来を指し示す社交場」

北海道から来た3人はどこにいても学んで帰る。道後温泉に早朝いそいそと出かけたらしい。早朝だから空いていると思ったが、意外にも混雑・・・不思議と思ったが、実は早朝の道後温泉は地域のおばあちゃんの社交場と気づく。

ここからが素晴らしい。「これって、未来のお客様のすごい情報源と関係作りの場よね」「私達の地域にも活用できるよね」と感心しながら話してくれた。それにとどまらず、私達のリーダーは早朝の高知城に出かけ、そこで地域のお年寄りがラジオ体操に集まっているのを見て、こう語った「ラジオ体操が始まる前の20分は黄金の時間だね。地域の年寄りが雑談していることが地域作りのヒントだね」と。普通、見逃してしまいそうな何気ない風景の中に、老人福祉のヒントが満載している。そのことに気づかせてくれた一言であった。

リンゴが木から落ちるのを見た人は数限りないほどいる。でも、落ちるのを見て万有引力の法則に気づいたのはニュートン一人。私達は同じものを見ていても、実は見ている中身が違う。見ている中身を決めるのは、あなたの仕事への思い、理念・人生への夢・志である。「思い」が気づきを高める。そしてその思いに知識が加わり真実を見極める「知」「智慧」をもたらしてくれる。志を持って学びましょう。そこに未来を指し示す気づきや発見があるのですから。